

第 41 回 一宮市地域公共交通会議議事録

【開催日時】

令和 5 年 11 月 13 日（月） 14：30～16：30

【開催場所】

一宮市役所本庁舎 14 階 1401 会議室

【傍聴人】

5 人

【議事内容】

1. 開会

事務局より、委員の互選により会長および副会長の選出を行う旨説明

《意見・要望》

・計画の作成中のため、前回と同じ加藤委員に会長を、宮口委員に副会長をお願いしたい。

《互選の結果：会長 加藤委員、副会長 宮口委員》

2. 議題

協議事項

(1) 第 3 次一宮市公共交通計画について

・事務局より資料説明

《追加説明》

・本日の会議で、パブリックコメントに向けてとりまとめていきたい。大きな修正がない場合は、会長一任になるのではないかと考えている。(会長)

○事業⑬「ドライバー確保に向けた取り組み」について

《意見・要望》

・ライドシェアの話題があがってきているが、全国の交通不便地域に、交通事業者が十分な提供ができていないことが要因となっている。そのため、地域限定ドライバーとするな

ど更なる活用に向けて取り組みたいと考えている。地元の方に限定して募集し、雇用することで、定時定路線で安心・安全に運行することが想定できる。また、フリーライド区間においては、WEBを見て検討していくことも想定できる。できる限り協力していきたい。

・ライドシェア等の制度はまだわからない点が多い状況である。iーバスミニの問題は、給料として安価なため通常のタクシー事業者では運行できない。そのため、有償で地域からドライバーを出していただくことで、実現可能につなげてはどうかというご提案である。法令により実施方法は異なってくるが、「地域限定ドライバー」の表記で良いのではないかと考えている。タクシー事業者に、iーバスミニの運行を継続してもらいにくい状況のため、このようなご提案となった。

《質疑応答》

・ライドシェアとご提案されたものの区別がつかない。例えば、ライドシェアはNPO法人が運行している地域もあると聞いているが、違いは何か教えていただきたい。

→ライドシェアは誤訳であり、定義が明確ではない。一般的に言われていることは、スマホを利用し、タクシー会社ではない一般人が運転手として登録、近くの方に連絡がいき、来てもらう方法である。タクシー会社は介入しておらず、スマホアプリの会社が介入している。移動したい人と移動を担える人をアプリでマッチングしている状況である。一方、タクシー協会よりご提案されたものは、基本的には駅やバス停まではバスや電車を利用し、その先の短い移動について市民ドライバーに運行して頂いたらどうかという内容である。ライドシェア的（白タク）行為を、緑ナンバーが実施する点がこれまでとは異なる。サービスとして異なるが、法令上は同じとなる場合がある。また、二種免許の取得がなく、一種免許での運行となる。（会長より説明）

○基本方針2について

《意見・要望》

・健康増進を盛り込んでいただいたが、身の回りでも健康意識が高い方が多い。具体的な施策が、バスの利用につながればよいのではないかと。

・公共交通に乗ること自体が健康なことであり、例えば公共交通を利用するとポイントが溜まり、そのポイントで公共交通に乗れるといった事例もある。多様な施策が連携できると考えられるので、様々なネタをご提案いただきたい。

○公共交通ネットワークの凡例について

《意見・要望》

・本編と概要版が異なっているが統一されるか。

→間違っているため、統一する。(事務局より回答)

○事業⑨「お得で便利な乗車券の提供」について

《意見・要望》

・一宮おでかけバス手形について、実証実験を10年実施すること自体がおかしいと以前より問題提起している。そのため、「本格運行へ移行します」など、具体の記載をお願いしたい。また、「運賃体系についても、見直しを行う」と記載をお願いしたい。スケジュールについても、「継続実施」と記載されているが実証実験の運行と勘違いするため、本格運行という明記をお願いしたい。市民が利用しやすい乗車券については異論ないため、事業者と行政で議論を継続していきたい。

→一宮おでかけバス手形について市では重要取組として認識している。実証期間は令和6年度までにしたいと考えている。また、運賃についても今後も名鉄バスと相談させて頂き、令和7年度の本格運行につなげたい。(事務局より説明)

・毎年更新してきたため、「本格」の意味が難しい。事務局の話であると、令和6年度も実証との意向であるが、名鉄バスはどうか。

→実証実験について毎年契約しているが、限界が来ている状況である。一度、運賃も見直して協議をし、実証ではなく取り組みが先に進む方向でお願いしたい。できる限り本運用は早い方が良いが、行政の予算取りや市民からのご意見もいただく必要があるため、今年度には限らないと考えてはいるが、社内で再度の確認したい。(名鉄バスより回答)

・令和6年は実証、令和7年から本格実施としてはどうか。また、これまでは、運賃を含めて検討していたが、本格運行になれば協議運賃としてみてよいか。

→これまでは、運賃の割引については協議運賃であった。10月以降も運賃の考え方については、変わらないと想定しているが、法改正にともなう変更点について整理しているところであり、改めてご報告したい。(運輸支局より説明)

→独占禁止法の関係で、公共交通会議で議論はできるが運賃を決定できないとの法改正があった。運賃協議会を別途創設し、議論して決定することとなった。公共交通会議で議論を行い、決定は運賃協議会に委ねることになる。(会長より説明)

○計画の目標2の指標「⑤利用者1人あたり行政負担」について

《質疑応答》

・運賃はこのままと捉えてよいか。

→令和4年度が現況値であり、経費も高騰しているため、利用者も踏まえたバランスを見て検討してまいりたい。(事務局より回答)

→多様な方向性が想定できる。利用者数が大きく増加すればよいが、この目標であれば、厳しいため、運賃増額となるのではないか。運行経費が大きく増額するため、行政負担の増加が見込まれる。この目標は達成できないのではないか。経費を縮減すると乗務員不足に繋がるため、利用者を増加させる方向で進める必要がある。1人の乗務員でできる限り多くの方に乗りあっていただく必要がある。収支率や行政負担が目標値と乖離しても、すぐには減便や廃止にはつながらないと考える。(会長より説明)

○基本方針2「一宮駅周辺の賑わい」について

《意見・要望》

・昨年まで岐阜駅の駅長をしていたが、岐阜市の中心部は、多くのバスが運行している。自動車を運行できないようにして、バスとタクシーのみの運行にできないかとの議論や、名鉄岐阜駅の前、片側2車線の道を1線潰して、バスとタクシーのみの運行を検討している。

姫路駅も北側が公共交通主体の街に代わってきており、岐阜駅もそのような検討を行っている。同じように、一宮駅においても、同様の取組が可能ではないか。まちなかの賑わいにつながる中長期的な検討をお願いしたい。

・彦根駅周辺においても、平和堂がまちづくりに貢献しており、座れるところや休憩場所が沢山設置され、憩いの場として快適な空間が創出されている。ただし、彦根駅からは歩行者が行きにくいといった問題点がある。まちなかウォークアブルについて、自動車の信号交差点があることは大変不利である。都市計画や中心市街地の議論であり、公共交通会議で議論があったことをお伝えいただきたい。

・問題点に「一宮駅周辺の賑わい不足」との記載があるが、良いのか。市民も、もっと賑わいが必要と感じているということか。このあたりの思いが十分に盛り込めてないと感じられる。

→アンケートから出てきている表現である。(事務局より説明)

○タクシー事業者の運転手不足、iーバスミニについて

《質疑応答》

・運転手不足について認識はしているが、ライドシェアは安全面で賛成できない。また、受益者負担については、利用者の負担も一定必要であり、良い言葉である。iーバスミニの目的地追加と記載あるが、追加するのか。

→日常生活に必要な店舗や診療所については、目的地を追加したいと考えている。(事務局より説明)

→乗務員不足については、コロナの影響も大きいと考えている。利用者が戻りきらないと、乗務員の雇用は難しい。タクシーは受益者負担のみであるため、利用者からすると高い運賃である。なるべく短い距離で多くの方に利用していただく事が重要である。(会長より説明)

→受益者負担という言葉について、自家用有償運送であれば、エリアの居住者に限るが、お金が回れば結果として住民の方にも戻っていくため、地域の方に乗務員を担っていただ

くのが良いのではないかとの提案である。これまでの一方的な利益者負担ではない。(タクシー協会より説明)

- ・タクシー会社に就職するということか。

→雇用関係を結ぶことを想定している。(タクシー協会より説明)

→このご提案について、自家用有償運送は制度があり手続きを行っていただき、タクシー事業者との雇用で、運行や健康管理をして頂くため、安全を確保できることを想定している。(愛知運輸支局より説明)

- ・ライドシェアについては、今後の必要性の議論、一定のルール作りが必要であると考え

- ・外国で実施しているライドシェアは、個人事業主であり、個人での安全管理である。雇用関係にあるということは、最低賃金が確保されるといった違いもある。公共交通は、地産地消という話もあった。

○計画素案について

《意見・要望》

- ・前回から事務局で大分力をいれていただき、大変見やすくなった。

○事業⑦「交通拠点の機能強化」について

《意見・要望》

- ・利用される方は高齢者が多いため、是非、ベンチ等の設置などバス待ち環境の改善をお願いしたい。

○事業⑤「iーバスミニの見直し」について

《意見・要望》

- ・住民懇談会で行先がバス停のみであり使い勝手が悪いとの意見が多くあった。病院など直接行けるようになれば便利になるため、利用勝手の良い目的地を追加していただきたい。

○収支率について

《質疑応答》

- ・千秋ふれあいバスは、運賃収入以外の収入として何かあるか。

→千秋町コースは3社から、大和・萩原コースは複数社からの協賛金を、収入にあてている。(事務局より説明)

《意見・要望》

- ・iーバスで収支率の悪いコースがあるため、その他の収入を得て、貢献が出来ればよいのではないか。
- ・千秋町や大和町・萩原町については、地域協議会を設立して議論している結果であると考えられる。北方町・木曾川町でも地域協議会を設立して議論していただくと良い。地域が恩恵を受けるためにも、地域も頑張って取り組むことをお願いしたい。他市でも、協議会など場づくりの取組を進めている。

○基本方針2について

《意見・要望》

- ・健康・ウォークブルというキーワードがあり、バスや鉄道の利用者増加につなげたい。中核市であり、保健行政の実施が義務付けられており、このような計画となったことはありがたく、注目していきたい。委員の中に、まちづくりに明るい方、健康づくりに明るい方も議論の場に入っていただくと良いのではないか。より、公共交通計画が実行性のあるものになるのではないか。
- ・健康というキーワードは良いが、具体的な実効性に欠けている。具体的な議論を持って記載することが宿題として残っている。保健師の資格を持っている方が公共交通の担当になられたことがあり、そのネットワークを活用した調査を持って計画を策定したことがある。公共交通は多様な分野との連携が可能であり、そのような具体的な連携につなげていただきたい。国の共創プロジェクトでサポートすることもできるため、良い話ができれば

発展できると良い。

- ・一宮駅周辺のまちなかの賑わいと記載があるが、尾西のまちなかも賑わいが乏しい状況である。尾西地域にも賑わいが繋がって欲しい。

- ・先日、尾西地域の県営住宅に視察へ行ってきた。バス利用が多いが、商店街としては賑わいが少ない地域である。バス停に人が集まり、賑わいが起こるなど、多様な方面から考えていただけると良い。公共交通がきちんと運行することで、地域を盛り上げることができるのではないかと考える。

○本会議について

《意見・要望》

- ・会を重ねることで良い方向に向かっている。木曾川町でも住民懇談会を3回実施していただき、一つの方向性を出していただいている。住民としては、今後、利便性が高い公共交通であってほしいと考える。便が多く、運賃が安い、使い勝手が良い公共交通を想定する一方、事業者としては利益確保、乗務員不足への対応などがある。また、公共交通への行政負担を増加することは良いが、他の分野の負担の必要性も頭をよぎる。「地域協議会」について、公共交通がなくなる問題があり、市民の危機感があったため、設立したとの経緯を聞いた。住民からは気づきにくいので、23連区に行政から地域協議会の設立のアプローチをお願いしたい。公共交通が地域の活性化につながるとの認識であるが、2025年には認知症患者が（高齢者の）5人に1人の見込みである。今後、移動は健康や精神的にも寄与するものである。是非とも、会議も継続し、取組を進めていただきたい。

- ・コロナの影響で、外出できることの大事さを痛感したのではないかと。地域協議会の立ち上げについて、目標設定してはどうか。特に、木曾川町・北方町に協議会を設置していただき、活動してはどうか。それができると、路線見直しも進むのではないかと。

- ・「交通事業者との協議を図る」との記載をいただいたが、協議は重要であり、今後も情報交換や協議を継続していただきたい。

- ・データの活用について、取得や公表ができなくて断念するのではなく、新しく取得する、

または提供していただくハードルを突破するなどの方向で取り組みを進めていく必要がある。例えば、鉄道駅へのアクセス手段のデータを取得し、活用し、施策につなげていくか、この計画の5年間で知恵を出し合い深めていきたい。

○事業⑬「ドライバー確保に向けた取り組み」について

《意見・要望》

・人材不足の話題が多く出ているが、ドライバー確保について施策に盛り込んでいただき、ありがたい。広く市民に広報・情報提供していただけたらと考える。バスの大型二種の取得費用が最低50万円を要する。中小事業者には会社負担が大変厳しい状況である。市民の大型二種取得に行政から10万円補助するという取り組み事例もある。一宮市におかれても、ドライバー確保の取組をお願いしたい。

○最後に

・事業者とよく話をし、どのようなことが有効か、継続して議論したい。やはり、地産地消の方向へ持っていけると良い。前回資料から、大きく印象が変わった計画となった。5年後に何ができているのか、何を思っているのか、ようやく認識を共有できた。概要版について、もう少し、そのようなことが伝わる形に見直ししたい。大きな修正内容は無かったため、会議で出た意見については事務局で修正し、会長一任とさせていただきたい。次回の1月18日の会議において、パブリックコメントの意見も含めて、最終意見をお願いしたい。このことについて、賛成いただけるか。(会長より説明)

《会長に一任する旨の協議：合意》

3. その他

次回の会議は1月18日（木）10時から開催

4. 閉会